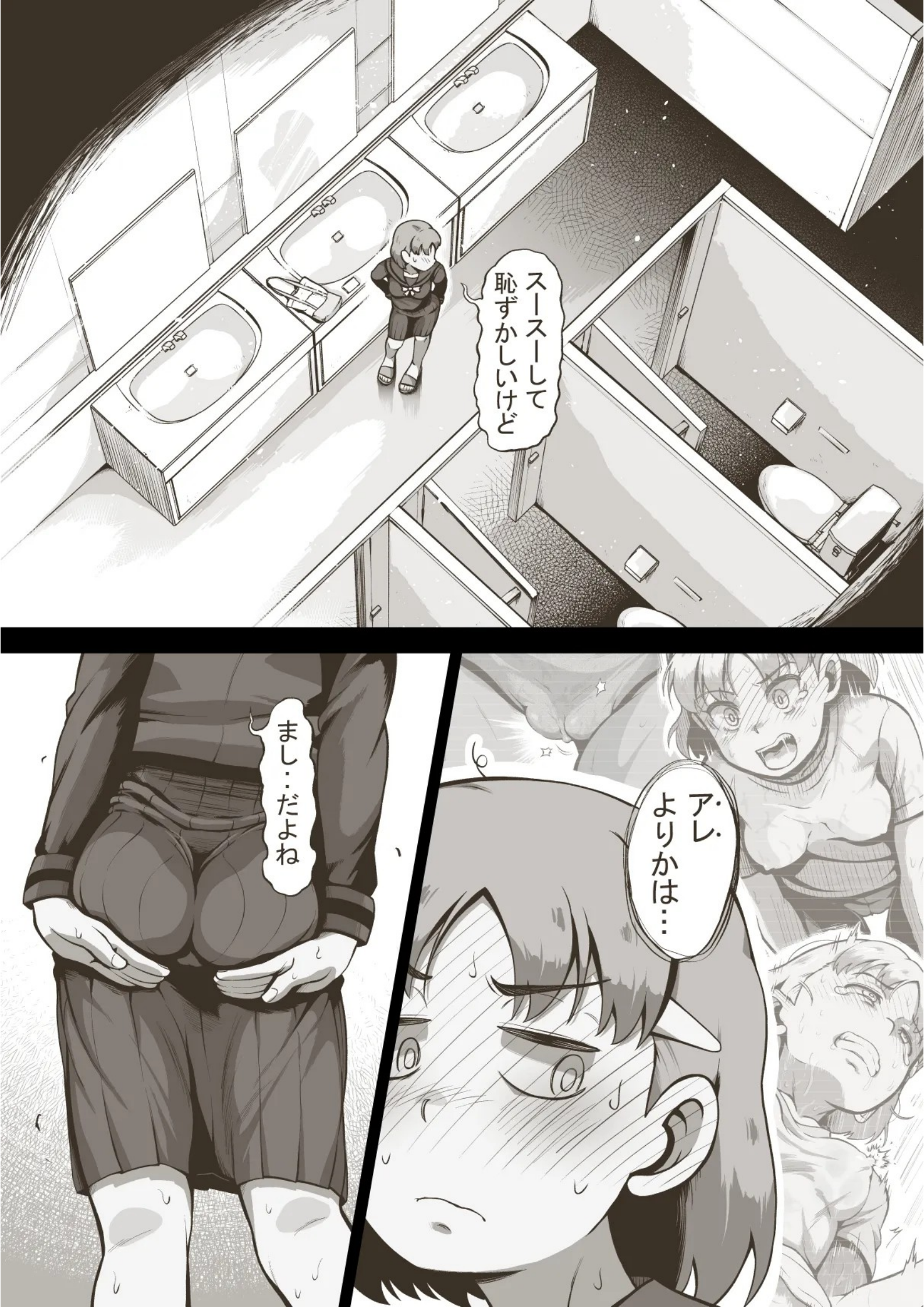
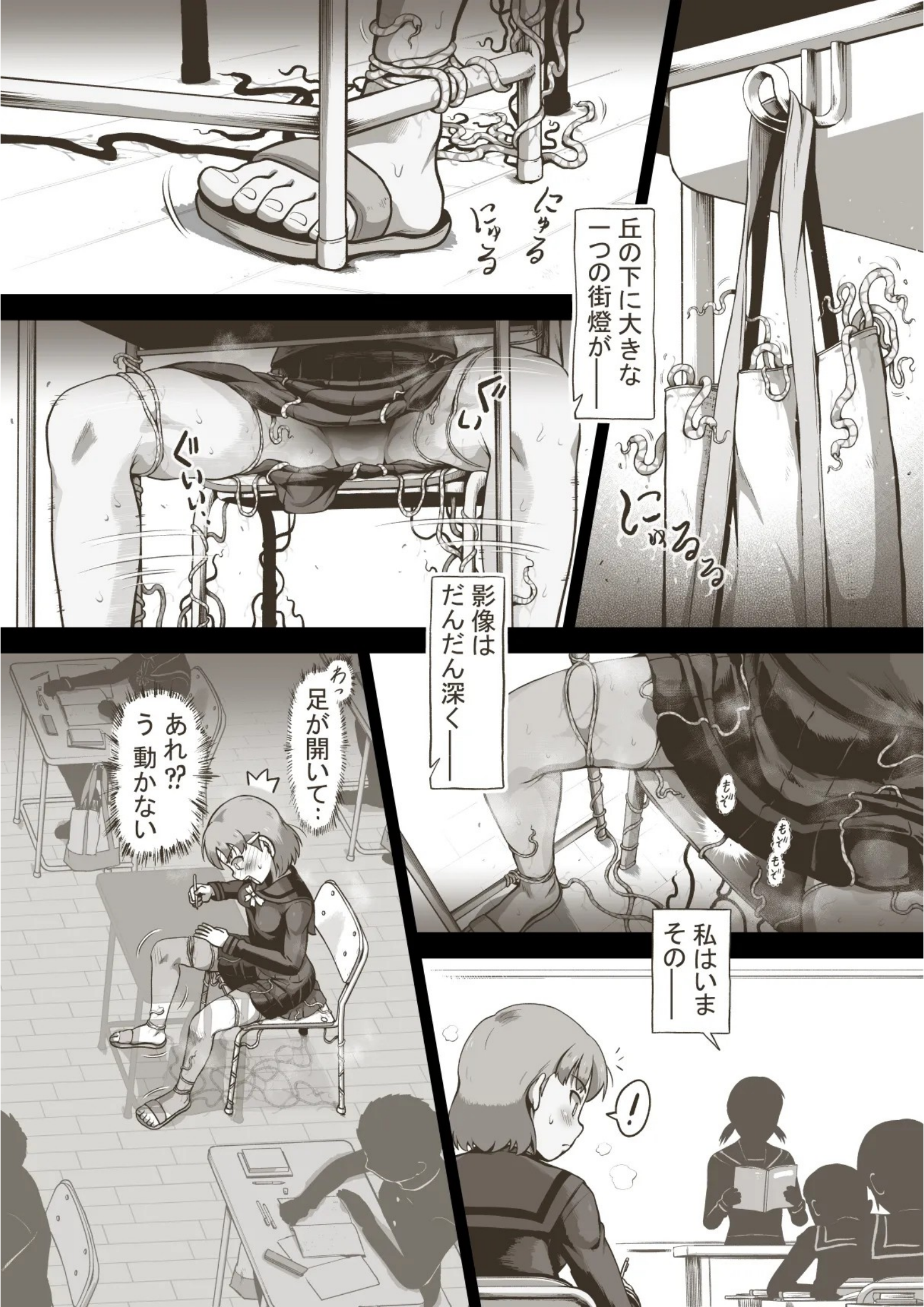

スースーして
恥ずかしいけど
アレ・
よりかは…
まし・だよね

誰かに
このページを
読んでもらおうか
そわ
そわ
んじゃあ…
佐藤！
読んでくれ
はーい


にゅる
にゅる
丘の下に大きな
一つの街燈が――
にゅるるる
ぐい
ぐいいい
影像は
だんだん深く――
もぞ
もぞ
もぞ
私はいま
その――
!
わっ
足が開いて…
あれ??
う 動かない

ズリュ
ズリュズリュ
ズリュ
クチャ
ゾクゾク
あっ!?
ゾクゾク
えっ?
ゾクゾク
ニュルル
ぴぱぁ。。
ニュル
ニュル
ニュル
ニュル
ツプッ
ズルル
ズルズル
ヌブッ
ヌブブッ
あ。。。

ズリュ
ズリュズリュ
ズリュ
クチャ
ゾクゾク
あっ!?
ゾクゾク
えっ?
ゾクゾク
ニュルル
ニュル
ニュル
ニュル
ニュル
ニュル
ツプッ
ズルル
ズル
ヌブッ
ヌブッ
ぱぁ。。
あ。。。

ぐぐっ
ビクッ
おっ
お母さんが
羊の毛皮を貸すよ

ズル ズル
グチャア
ズル
グチュ グチュ
クチュ チュ
暗い路地から
出て来て――

な…何？
お腹の中が
……!?
んっ
ニュルル
グチュ
クチュ
クチュ グチュ
クチュ

ドドド